

製品名: SIRT3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02604**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 28 kDa

抗原情報

遺伝子名	SIRT3
別名	SIR2L3
遺伝子 ID	23410
SwissProt ID	Q9NTG7
免疫原	ヒト SIRT3 の合成ペプチド

背景

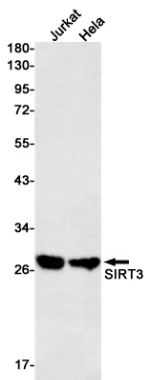
この遺伝子は、酵母 Sir2 タンパク質の相同遺伝子であるサーチュインファミリータンパク質をコードしています。サーチュインファ

ミリーのメンバーはサーチュインコアドメインを特徴とし、4つのクラスに分類されています。ヒトサーチュインの機能はまだ解明されていませんが、酵母サーチュインタンパク質はエピジェネティックな遺伝子サイレンシングを制御し、rDNAの組換えを抑制することが知られています。研究によると、ヒトサーチュインはモノADPリボシルトランスフェラーゼ活性を持つ細胞内調節タンパク質として機能する可能性が示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サーチュインファミリーのクラスIに含まれます。この遺伝子には、異なるタンパク質をコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

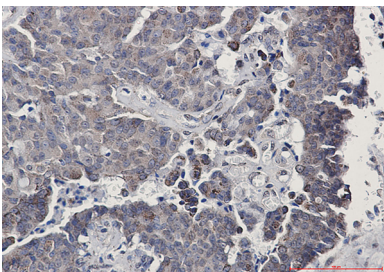
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



SIRT3抗体を使用した、Jurkat、Hela溶解物中のSIRT3のウェスタンブロット分析。



SIRT3抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。